



発行  
真宗大谷派 飛騨御坊真宗教化センター  
発行者 三島 多聞  
〒506-0857 高山市鉄砲町6番地  
☎(0577)32-0776  
\*毎月20日発行 50,000部  
三市一郡無料配布  
印刷 山都印刷株式会社

# 報恩講御礼

## 「マスクの中の報恩講」

本年の飛騨御坊の報恩講は「三密」に配慮して厳修しました。遠隔に出していたバス利用も、お齋の会食も、名物大根汁も、そしてバザーの催しも中止をし、参拝の本堂も、お参りの方々を各組に分けてのご案内でした。参勤の法中寺院も過密にならないよう、各組に分けてのお勤めを担当していただいた次第でありました。この流れでは「正信偈」、「念仏」、「和讃」も、全員が声を張り上げてのお勤めとはなりません。でも、例年の如く厳粛にお参りできたことは有難いことでした。

お参りして、ちよつと異様に映ったのは内陣出仕の全僧侶が、それぞれマスクをしておられました。で、その様子だけを見ると何か真言宗か天台宗の特別な秘密儀式作法のような感じでした。この度のコロナ感染で全世界の人たちはマスクを着用しています。外国ではマスクを拒否する人々がいます。ある考えに基づいてマスクをしない人もいるし、あるいはマスクをするという習慣がないので嫌がる人たちもいるようです。でも、日本では特別な抵抗もなくマスクをしましたし、風邪をひけば必ずマスクをします。どうして日本人は自然体でマスクを使用するのか？ 本年の御坊報恩講で、ひよつとしたらマスクを着用するというこの原始は、真言宗や天台宗が神聖なものを取りあつか

う仏事作法の中から来ているのではないかと思いました。テレビで江戸時代の料理店の厨房で働いている職人の絵図が出ていましたが、彼等は全員マスク（口元に白い布を両耳からたらしめている姿）をしていました。きつと神聖な物であつたかう仏事作法がヒントになったんだろうと想像します。皆さんご存知の「なんでも鑑定団」で、貴重な軸物など鑑定する方は、口元にハンカチを当てて鑑定しています。日本刀を手入れする時、懐紙を口にくわえ、刀剣に息のかからないようにしています。恐らく昔の医療関係者は早い段階でマスクをするヒントを身につけていただろう。日本人がマスクをするのに抵抗感がないのは昔からの経験知があるからだと思えます。「マスクの中の報恩講」で、いろんなことを想像しました。来年はマスクのない報恩講を願うことです。

高山別院輪番 三島 多聞



## YouTube チャンネル「ひだご坊」を開設！

ひだご坊高山別院から多くの方々へ真宗の教えをお届けするため、2020年11月よりYouTubeチャンネル「ひだご坊」を開設しております。現在は高山市のローカルテレビ「Hit net TV!」で放送された、子ども向け真宗TV番組「ごぼうチャンネル!」(2020年10月放送分)を公開しておりますので、是非ご視聴ください。

YouTubeチャンネル「ひだご坊」は今後随時内容を充実し、皆さまの元へ真宗の教えをお届けしてまいります。

※QRコードを携帯電話で読み込むとご視聴できます。



### 別院定例法座

午後1時から

11月28日 親鸞聖人ご命日法座

講題 「浄土にうまるるたね」

講師 三島 大遵 氏 (真蓮寺住職)

12月3日 三日のご坊

講題 「信じる心」

講師 門端 讓 氏 (弘誓寺住職)

## 第38回 真宗公開講座 (第3回)

2月22日(月) 14時～ <参加費500円>

講師 朝戸 臣統 氏 (本願寺派 飛騨組神通寺住職)

講題 「仏心とは大慈悲これなり」

会場 高山別院 本堂



URL: <https://hidagobo.jp/sermon/>

12月1日～  
池田 英作 氏  
(了泉寺門徒)

12月16日～  
北條 秀樹 氏  
(了泉寺)



家族で語る

仏教×グリーフケア①

尾角 光美

「死を平等に」

突然ですが、十二月一日が何の日かみなさんご存知でしょうか。二〇〇一年に厚生労働省が自殺予防活動の一環として制定した「いのちの日」です。毎年この日にあたって、全国で超宗派(色々な宗派)の僧侶らによる「自死者追悼法要」が全国各地(東京・名古屋・大阪・広島)で執り行われています。今年もコロナの影響で、スタッフのみでおこなうということに耳にしてすこし残念だなと感じておりますが、それでも名古屋では今年十二回をむかえ、貴重な場と時間を、毎年重ねていかれていることに頭が下がります。

でも、そもそもなぜ「自殺(自死)」がこうして取り立てて、他の死因とは別に、追悼法要を超宗派の有志のお坊さんたちの手で行っているのでしょうか。みなさんは、なぜだと思われませんか。もちろん「震災」「戦争」などは大規模な追悼の場をもつことがあると思います。それは被害がそれだけ甚大ゆえのこと。日本の自殺者は世界的に見ても多いといえど、年々、減少傾向にもあります。きつかけとして自殺者の増加により社会問題化してはじまった側面はありますが、今回は、人数・規模の問題ではなく「偏見・差別」という視点から考えていきたいと思えます。

「自殺したのであれば、葬儀は密やかに行うように」と警告したお坊さん、お祓いの請求をできないと断ったお坊さん。そんなお坊さんいろいろいるわけない、と思いたいのですが、実際に、ご遺族が出会われたお坊さんたちの中にそういうお坊さんがいたそうです。もちろん、一方で、一生懸命に法名を考えたたり、死に方に関係なくちゃんと仏さんが救ってくれますというのを伝えてくれたりした経験も語られたご遺族もいます。

見・差別」という視点から考えていきたいと思えます。

「自殺したのであれば、葬儀は密やかに行うように」と警告したお坊さん、お祓いの請求をできないと断ったお坊さん。そんなお坊さんいろいろいるわけない、と思いたいのですが、実際に、ご遺族が出会われたお坊さんたちの中にそういうお坊さんがいたそうです。もちろん、一方で、一生懸命に法名を考えたたり、死に方に関係なくちゃんと仏さんが救ってくれますというのを伝えてくれたりした経験も語られたご遺族もいます。

お坊さんも人間で、仏教界も人間界です。そう考えると、わたしたちと同じ人間として「知らないものをどう扱っていいのかわからない」ことや「避けたい」「逃げたい」ことというのがあります。自殺について学ぶことも、立ち止まって考えることもなく生きてきたのであれば、偏見や差別の心をもつことも自然なことかもしれません。ただ、仏教に「どの死がよい死で、どの死が悪い死」とは説かれていません。自殺についても、重い病に苦しむ弟子の一人が「自殺」を考えていたが、その善悪を判断しなかったエピソードが残っています(『雑阿含経』より)。一方、キリスト教では、国によって自殺者の遺体を教会内の墓地に埋めてはいけないとされていた時代もありました。そう考えると、死による差別をしないというのは、仏教の持っている

力ではないかと思うのです。グリーフのすこし専門的な概念になりますが「公認されない悲嘆」というものがあります。「亡くなったことを悲しみたくても、誰も認めてくれない」というような、自殺、コロナ、HIVのような偏見、差別に関連する死因によるものや、同性愛者、婚約者といった社会的に「遺族」として認められない関係性の人たちが経験するグリーフのことです。これに対し「平等」の大切さを説いている仏教だからこそ、等しく、死を大事にすることができているのではないのでしょうか。いかなるいのちも平等なのであれば、いのちに含まれる死もまた平等である。葬送の現場において、積極的な関心をもって、亡き方がどんな方だったのか、お坊さんがよく聴き、その方と、目の前の遺族を想うことは、亡くなり方に関係なく、そうあってほしいと願います。

力ではないかと思うのです。

グリーフのすこし専門的な概念になりますが「公認されない悲嘆」というものがあります。「亡くなったことを悲しみたくても、誰も認めてくれない」というような、自殺、コロナ、HIVのような偏見、差別に関連する死因によるものや、同性愛者、婚約者といった社会的に「遺族」として認められない関係性の人たちが経験するグリーフのことです。これに対し「平等」の大切さを説いている仏教だからこそ、等しく、死を大事にすることができているのではないのでしょうか。いかなるいのちも平等なのであれば、いのちに含まれる死もまた平等である。葬送の現場において、積極的な関心をもって、亡き方がどんな方だったのか、お坊さんがよく聴き、その方と、目の前の遺族を想うことは、亡くなり方に関係なく、そうあってほしいと願います。

いかなる死をも平等に、そこにあつた「いのち」を大切に想い、仏さまのもとに迎え入れられていることをすこしでも感じられたいら、やさしい支えになるのではないかと思います。この十月の自殺者数は一ヶ月で二一五三名を記録しています。二月二十七日に初めて死者が出てから、この八ヶ月間の新型コロナウイルスによる死者数が一八四七名。この数字にも、わたしたちが問われているものがあるように思いますが、それはまた次回。

次回は佐賀枝夏文さんの「人生の「こんなこと」「あんなこと」」です。

高山別院報恩講

子ども作品展

十月二十二日から十一月三日まで、小・中学生の書道と絵画作品二百二十二点が別院本堂内に展示され、書道作品は左記の通り各賞の入選が決まりました。受賞された皆さまにお祝いを申しあげます。また、コロナ禍の影響を鑑みて表彰式を取りやめましたが、例年通りに運ぶことのできない報恩講作品展となりましたが、今年も書道塾・教室、個人よりたくさんのご出展をいただきました。ご参加の皆さまに御礼申し上げます。

【飛驒御坊賞】  
牛丸結愛(小六)・塚腰華(中三)

御坊報恩講  
中三年 塚腰華

大如来  
六年牛丸結愛

【金賞】

河合彩芭(幼)・中丸詩野(小二)・岸本那奈(小三)・天木葵(小四)・長瀬遙飛(小五)・杉山二郎(小六)・横谷梓(中一)・杉山直己(中二)・竹内友哉(中三)

【銀賞】

山越穂高(小一)・清水謙蔵(小二)・渡瀬智世(小三)・大江きなり(小四)・大西希実(小五)・松田瑛斗(小六)・中丸結衣(中一)・野原久遠(中二)・直井星良(中三)

【銅賞】

林蓮太郎(小一)・村田知彩(小二)・播磨喜子(小二)・圓山晴羅(小二)・大西杏実(小三)・牛丸結衣子(小三)・今井純鈴(小四)・松井ななみ(小四)・畑中朝陽(小五)・田中大雅(小五)・塚本怜那(小六)・河合萌香(小六)・青豆さくら(中一)・西本芽生(中一)・渡邊亮太(中二)・橋爪なつめ(中二)・山口永遠(中三)・橋本ゆい(中三)

(以上、敬称略)

大谷婦人会 定例法座

日時 12月11日(金)  
午後1時から  
講師 三島多聞 別院輪番



飛驒御坊限定! 蓮の実念珠

ご坊さま(高山別院)の蓮池から採れた実で作った「蓮の実念珠」を販売しています。  
念珠は一つ5,000円となります。

※念珠の修理も承っています。  
お問い合わせ・ご予約は別院(32-0688)まで

高山別院報恩講奉仕御礼

報恩講にはたくさんの方に協力いただきました。あらためて厚く御礼申し上げます。  
大谷婦人会高山支部  
高山支部坊守会  
別院華方  
別院朱印方  
別院門徒  
仏教讃歌をうたう会  
岐阜高山教区真宗同朋会  
高山一組真宗の会  
高山二組門徒会  
吉城組門徒会  
益田組有志  
おあさじの会

(順不同)